

1. 石人像、石造物とは

(1) 文人像 ・冠の形で分類

①階段型 幘頭（ポクドゥ）又は紗帽（サモ）を模式化したと考えられる

②縦縞模様 梁冠（ヤンガン）を模式化したと考えられる

③波形 内侍である。宦官は高い官職であるが、後裔達は隠そうとして墓を壊す者が多かった。従って首の取れた石人像が多いという。

④程子冠 稀に見かける

(2) 童子像 2つのマゲ（サンサントゥ）が特徴。

(3) 武人像 武人は冑を被り抜き身の太刀を手を持っている。將軍石ともいう。

・文人石と武人石は、死者を守るために墓の正面の両側に1対ずつ配置する。

・王陵の場合は、文人像と武人像を一緒に配置し、満朝百官の賀礼を受ける形式をとる。

文人は王命に従うという意味で笏（しゃく）を胸の前に両手で持ち、武人石は王を護衛する武官の姿で、刀を持って立っている。

・文人石は中階に、武人石は下階に立てる。武人より文人が上位である。

・民間の墓では故人が文人だったら文人像を、武人だったら武人像を建てる。

(4) 法首（ポクス） 村や寺刹の入口、道端などに建て、里程標や境界標の役割を持つ。

(5) 濟州童子像 濟州島の墓に建て、邪悪なものからの守護神。玄武岩製。

(6) トルハルバン 濟州島の守り神。玄武岩製。

(7) 石羊（ソギャン） 羊は邪悪なものをやっつけ、親孝行を象徴する羊の形をした守護神。

(8) 石虎（ソクホ） 虎は勇敢な動物として陵寝を守る虎の形をした守護神。

(9) 石馬（ソンマ） 文人・武人の馬で、石人より小さく、石人の下側で少し後に立つ。

(10) 望柱石（マンジュソク） 陵上の左右に建てられる八角形1対の石柱。高さは約2m。

遠くから靈魂が自分の幽宅（墓）を探してくる案内の役割をすると言われている。

(11) 長明灯 四角形か八角形で仏教の石燈を模倣して作った。仏教思想の影響で死後世界でも魂が陵内で自由に歩き回ると信じ、墓地を明るくする象徴的な意味で建てた。

(12) 多層石塔 陰陽道で奇数は縁起がよく、三、五、七、九、十三層の石塔が多い。

(13) 浮屠 仏陀を表し、仏塔を意味する。

(14) 床石 一般の墓（民墓）では床石の上にお供えを並べる。

(15) 双獅子灯籠 (16) 螭首・亀趺 (17) 香炉石 (18) 碑台石 (19) 鼓石

2. 地理と歴史の復習

3. 石人像、石造物の実際の配置

(1) 朝鮮王陵で設ける石造物 (2) 一般の墓（民墓）で設ける石造物

4. 石人像、石造物の所在地

(1) 韓国における所在地 (2) 日本における所在地（所在リスト：Gool マップで見える）

5. 日本にある文化財の数と保存

(1) 日本所在の韓国文化財

①その数 71,375点（海外所在韓国文化財の43.5%） 出典：金廷禧(2016)

②日本にある文化財の種類

楽浪古墳、伽耶古墳、百濟古墳、新羅古墳、陶磁器、彫刻、建造物、石造物（塔、浮屠）、朝鮮鐘（梵鐘）、仏像・仏具、古書典籍、絵画などに加え石人像も

(2) 文化財の日本への渡来経路

(3) 文化財の所有者や場所は変わる

(4) 石造物の保存活動

6. 返還された石造物

7. 文化財の返還について

2017年11月28日、仏マクロン大統領が、「5年以内に、アフリカ遺産の一時的もしくは永久的返還のための条件を整えたい。」と述べたが、余り進展はしていない。 以上